

校長室
だより

思い合いの心で

おみっ子

通信



令和2年3月18日
麻績小学校
No.46

みんなが笑顔!

6年生のみなさん

ご卒業おめでとございます!



明日に向かって 新たな一歩を

卒業生の皆さんの学校生活から印象深かったことを記します。

4年生の算数の授業でした。問題文を皆で読み終えると一人ひとりが黙々と自分の考えをホワイトボードに書き始めました。一人が自分の考えの道すじを堂々と発表し、続く友だちも自分の考え方と重なることやすれていることを発表し合ってお互いの学びを深めていく皆さんの姿がありました。

4年生後半のことです。金管バンド活動が始まると、週末ごとに楽器を持ち帰る姿がありました。4年生にとって楽器は重いです。でも平気な顔で、むしろ早く上手になりたいくてそんなことも楽しくて仕方がない、というふうに休

日練習し、翌週にはまた重い楽器をかかえて登校する姿が多く見られました。

5年生になり、自分たちで役割を決めた「お米の活動」に個々それぞれ取り組む姿がありました。「田んぼ」の時間になると活動の場に散っていき、時間いっぱい、先生が見ていようがいまいが、自分の活動に夢中になって取り組んでいました。

余談になりますが、みなさんが、お米を鳥から守るためにと一生懸命に作ったかかし、ようやく完成してあぜに立てたら、すかさずからすがとんできてそのかかしの肩にとまって鳴いた、などというエピソードもありましたね。

これまでみなさんは、たとえ一人になっても学習や活動に懸命に取り組み、願いを実現できる力を磨き上げてきたのだと思います。ですから、6年生に進むとその力が花開き、児童会活動、友だちグループ活動、地区児童会、金管バンド演奏など多くの場面でおおいにリーダーシップを発揮できる本当に

頼もしい6年生となりました。

さて、思いも寄らない状況になって今日を迎えた皆さん。しかし、わたしは、「全てのことに意味がある」と考えます。今、皆さんは誰もが経験したことのない卒業を迎えようとしています。しかし、これからの日々を、あの算数の問題に真剣に取り組んだときのように、誰も見ていない、手を抜いても誰にも知られない田んぼで汗だくになって雑草を抜き続けたあのときのように、今と向き合って努力を重ねれば、いつか「あのときへこたれずに、くさらずに頑張ったからこそ今の自分がある」と思える日を必ず迎えることができると思うのです。今をどう受けとめ、今後につなげるかは一人ひとりの心の持ちようです。

まずは自分の力を信じること。困ったらまわりの友だちと支え合えばいい。中学校生活においても皆さんの一意専心の姿は必ずや花開き実を結びます。

麻績小を巣立つ皆さん、一層の躍進を心から応援しています。

「思い合い」の心と自分を信じて、中学校へ羽ばたこう！

転任する職員の紹介

担 任 等	氏 名	転 任 校 及 び 今 後 の 動 向	本校勤務
2年担任	宮入久美子	退職	10年
学習支援	永田 まり子	退職	1年
用務員	林 健史	退職	6年
給食調理員	花岡 利恵	退職	11年
1年担任	鳥海 康	生坂村立生坂小学校	3年
学習支援	小山 愁平	岡谷市立長地小学校	2年
校 長	福田 弘彦	伊那市立伊那小学校	3年

以上7名の職員、麻績小学校にお世話になりました年月には長短ありますが、お家の皆様をはじめ麻績村の皆様方に支えていただき、心優しい素直な子どもたちと過ごすことができましたことに感謝申し上げます。麻績で学ばせていただいたことを糧に家庭及び新任地においてもがんばります。

次年度につながる春休み ～ 在校生の皆さんに ～

思ってもみなかった臨時休校に引き続いての春休みとなります。コロナウイルス感染予防を最優先に、何より病気や事故のない生活を送り、新しい学年・学校に進むことができることを願います。次に会うときには、誰もがさらにお兄さんお姉さんの顔つきになっていてくれることでしょう。心より応援しています。健康にそして安全なよいお休みを過ごしてください。